

月ヶ瀬地区地域ミーティング
(通算第41回)

開催日	平成25年12月19日(木)
開催時間	午後7時～午後8時30分
会場	月ヶ瀬行政センター
参加者	36名



地 域 課 題	市 の 回 答
1. 名勝月ヶ瀬梅林(梅溪)の振興と景観整備事業の継続実施について	<p>1. 名勝月ヶ瀬梅林景観整備関連の予算について、今後も継続して確保に努める。なお、県道月ヶ瀬梅林山添線の道路改良については、地形的な制約が非常に厳しく、相当の事業規模になることも予想され、地域全体の観光振興の観点からもう一度必要性を見極める必要があるという県の考え方である。市としては、今後、地域の意向を踏まえ、県市の連携会議に引き続いて協議を行っていきたい。</p> <p>また、平成26年2月予定の月ヶ瀬温泉リニューアルが地域活性の起爆剤となり、観光振興の拠点となって地域が発展するよう皆さんと共に進めてまいりたい。</p>
2. 茶業振興に対する継続支援について	<p>2. 茶業をとりまく環境は、茶価の低迷・生産資材の高まり等により大変厳しい状態であることは、認識している。お茶農家の担い手と全国のお茶生産者と意見交換を行い、大和茶消費宣伝活動等のイベント開催等により、大和茶のブランド名を広げるための経費を支援する。</p>
3. 小中学校におけるお茶の学習について	<p>3. 小学校の家庭科の授業でお茶を扱う実習、お茶の入れ方、種類や茶葉の産地についての学習を行う。</p>
4. 小中学校への常勤講師の配置について	<p>4. 県教育委員会へ常勤講師の配置について要望しているが、難しいのが現状であり、市教育委員会として予算確保に努める。</p>

<p>5. 遠距離通学の補助金の増額について</p> <p>6. 防災対策として避難場所の見直しや防災無線の設置について</p>	<p>5. 現在は、4 km 以上の生徒を対象に、定期代の 20% を助成しているが、今後もこの補助を維持継続するため、予算の確保に努める。</p> <p>6. 避難場所については、地域の集会所やお寺等に一時的に避難するなど考えていただきたい。そこに避難されていることがわかるような情報連絡体制をとっていただくこととなる。月ヶ瀬地区自主防災・防犯会のご協力も必要不可欠となるので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>防災行政無線の整備は現在進めており、月ヶ瀬中学校屋上にスピーカーを設置し、平成 27 度から運用する。ただ、1 箇所を設置予定なので、音声で伝わらない地域については、消防団員・消防職員・市職員により、情報伝達を行なうこととなる。衛星携帯電話の設置や相楽中部消防組合等との消防相互応援協定により災害時の協力体制も確立している。</p>
--	---